

第 22 回 コンパス薬局藤沢 スキルアップ勉強会

2016. 3. 29 熊山 ともみ

日新製薬(株)

非ステロイド性抗炎症点眼剤

『ブロムフェナクNa点眼液0.1%「日新」』

日新製薬(株) 有山 絵梨香さん

場所：コンパス薬局藤沢

参加者：眼科職員さん、相原美穂、空田さやか、熊山ともみ

ブロムフェナクは抗炎症作用を発揮する非ステロイド性抗炎症点眼剤に分類される。シクロオキシゲナーゼ（COX）を阻害し、プロスタグランジン（PG）の生合成を抑制することで抗炎症作用を示す。一般に結膜炎や眼瞼炎、アレルギー性結膜炎に用いられるが、白内障等の手術前後にも抗炎症、鎮痛目的で用いられることもある。今回は、ブロナックの後発品である、ブロムフェナクNa点眼液0.1%「日新」について勉強会を行った。

〈効能又は効果〉

外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法〔眼瞼炎、結膜炎、強膜炎（上強膜炎を含む）、術後炎症〕

〈用法及び用量〉

通常、1回1～2滴、1日2回点眼する。

〈禁忌〉

- ・本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

〈副作用〉

過敏症：接触皮膚炎

眼：角膜糜爛、結膜炎、眼瞼炎、刺激感、眼痛〔一過性〕、点状表層角膜炎、そう痒感、角膜上皮剥離、熱感〔眼瞼〕等

〈特徴〉

- ・ブロナックの後発品としていち早く発売し、他販売メーカーへ製造会社として製品を提供している
- ・1日2回点眼、室温保存可、遮光保存の必要が無い
- ・添加物もほぼ先発と同じものを使用している（GEはPH調整剤と記載してあるが、先発は水酸化ナトリウムをPH調整剤として使用している）
- ・ステロイド点眼薬に比べて、抗炎症作用は弱いだが、眼圧上昇・感染性の恐れがなく、

長期投与に対する安全性が高い。

- ・ 滴下精度がよく、ひと押しで確実な1滴がでる
- ・ 2016年4月から薬価314.5円となり先発の約60%の位置づけ

<考察>

他にも非ステロイド性抗炎症点眼剤がある中、ブロムフェナクは1日2回、室温保存可、適応症が他製剤より多いといった点が評価される。また、滴下精度がよく、ひと押しで確実な1滴がでることもポイントである。白内障手術後などで長期間にわたり抗炎症作用が必要な患者様に対しコンプライアンスの向上、点眼失敗例が少ないため無駄なく使用できる。薬価については、他非ステロイド性抗炎症点眼剤より高価ではあるが、1日2回点眼であるゆえ、1回当たりの単価はほぼ同等であった。

安全性について、発売して2年となるがいまだに副作用報告として明確にあがってきたものはないと言う。今のところ単剤では安全性が高いといえるが、他剤併用時の眼の状態、変化についてこれから注目していきたい。